

2009年5月15日

エコアクション21

環境活動レポート

2008年度



ERG 小さな部品の精密めっき 株式会社 **エルグ**

1. 会社概要

1) 会社概要と業務内容



▲管理棟



▲第二工場

社名	株式会社 エルグ		
本社工場	〒370-2451 群馬県富岡市宇田250-6		
TEL	0274-62-2421(代)		
FAX	0274-64-2379		
創立	1947年(昭和22年)3月22日		
資本金	20,000,000円		
代表取締役	桐原 正明		
工場面積	工場敷地	5,643m ²	
	建物延床面積	第1工場	3,432m ²
		第2工場	1,112m ²
取引銀行	群馬銀行富岡支店 みずほ銀行高崎支店 日本政策金融公庫前橋支店		

私たちは「ERG」で弊社の事業目的を表現します

ドイツ語で[erg.]は[完全なもの！](erganzeの略語)を意味します。私たちは高度な表面処理技術により、[皮膜で新しい価値]を創造し、部品としてあるべき姿、即ち目的に適った[理想の輝き]を与えます。だからこそ私たちの仕事は美のロマンに満たされた仕事だと思います。それは働くものの[楽しさ=輝き]でもあるのです。

ところでergのE・R・Gはドイツ語で

E:Echt…(エヒト)本物の(=絶対の信頼)

R:Rationell…(ラティオネル) 目的に適った(=理想的なものにする)

G:Glanz…(グランツ)輝き

にあたります。

主な納入先

- 株式会社 ヨコオ
- 株式会社 ミツバ
- パナソニック電工朝日(株)
- サンデン株式会社
- 第一電機株式会社
- 三協株式会社
- ミネベア株式会社
- 三菱マテリアル株式会社
- 株式会社 ユタカ製作所
- 株式会社 エクセル電子
- ユウエツ精機株式会社
- チューリップ株式会社
- サトーパーツ株式会社
- 株式会社 アドバネクス
- 小松ばね工業株式会社
(敬称略・順不同)

めっき

- ・銅めっき
- ・ニッケルめっき
- ・硬質クロムめっき
- ・銀めっき
- ・金めっき
- ・ロジウムめっき
- ・パラジウムめっき
- ・錫めっき
- ・無電解ニッケルめっき

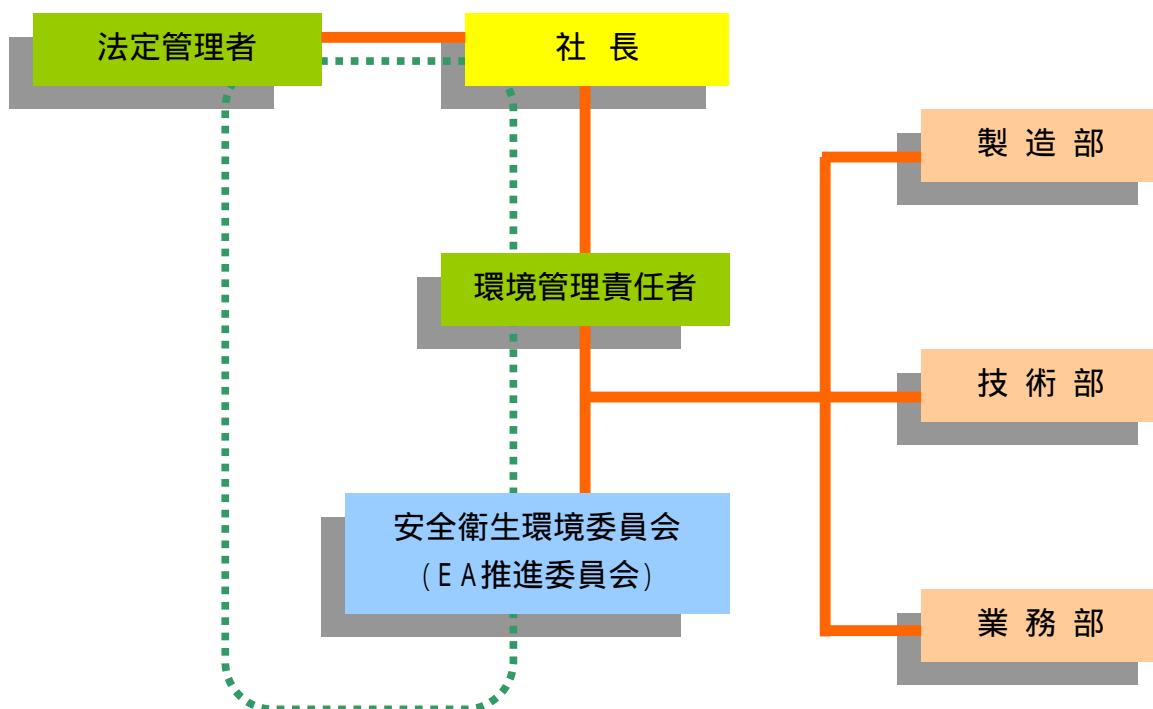
加工

- ・研磨加工
 - バレル研磨
 - バフ研磨
- ・特殊加工
 - 脱脂処理
 - キリンス処理
 - 熱処理(ベリ銅の析出硬化処理)

2) 環境管理責任者及び担当者連絡先

代表責任者	代表取締役	桐原 正明
環境管理責任者	常務取締役	恩田 文作
担当者	業務部 マネージャー	矢嶋 修一

3) EA 2.1 運営組織図



2.方針

企業理念 ~ Working with Pleasure

私たちは、表面処理の技術と成果をとおして、新たな価値を創造します。
これにより、社員とお客様の幸せを築き、よりよい社会づくりに貢献します。

環境方針 ~ Harmony with the Earth for Future

私たちは、地球環境の重要性を認識し、資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。また、環境と調和した活動を続け、次の世代へ伝えていきます。

環境保全活動 ~ Environmental conservation activities

1. 当社は、環境汚染を防止するため、事業活動によって環境に与える影響を的確に捉え、関連する環境の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、自主的改善目標を立案し、継続的に環境保全に取り組みます。
2. 環境マネジメントシステムについて環境内部監査を実施し、自主管理によるシステムの継続的な改善を推進します。
3. 事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある下記項目に関して継続的に減量化・リサイクル及び管理強化に積極的に取り組み、環境目標の設定、実行及び見直しの実施に全ての社員が参加します。
 - 1) 化石燃料・エネルギー
 - 2) 廃棄物(スラッジ)
 - 3) 水
 - 4) 紙
 - 5) 化学物質
 - 6) グリーン購入
 - 7) 温室効果ガス
4. 防犯、安全衛生対策を万全にし、定常時、非定常時、緊急時のいずれの場合も環境に与える負荷が、最小限になるように汚染の予防に努め、経済的に可能な限り予防措置及び対応方法を定め、訓練を実行します。
5. 環境改善を実行し維持するための環境教育を、全ての社員及び当社の為に働く全ての人に実施し環境方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。
6. 高田川に隣接した立地条件を認識し、水と自然を大切にする活動を通し、地域住民とコミュニケーションを図り地域社会に貢献します。
7. この方針は、社内外に公開します。

2008年5月15日

株式会社 エルグ

代表取締役 桐原 正明

弊社は、2003年7月からISO14001に基づく「環境活動」を実施してまいりました。
以下に、2006年～2008年の環境活動をご報告致します。

3. 環境目標とその実績

1) 環境負荷の状況

主要項目		2006年度	2007年度	2008年度	
二酸化炭素排出量	実績(t)	1,059	998	744	
	前年比(%)	84.9	94.2	74.6	
廃棄物排出量	無機汚泥	実績(t)	44	39	20
		前年比(%)	72.5	88.6	51.9
	一般	実績(t)	18	11	9
		前年比(%)	130.5	64.9	80.8
総排水量	実績(m ³)	61,258	54,378	35,450	
	前年比(%)	94.3	88.8	65.2	

自主項目		2006年度	2007年度	2008年度	
化学物質使用量	実績(t)	275	239	217	
	前年比(%)	110.0	86.9	90.8	
	実績(k)	19	21	17	
	前年比(%)	79.2	110.5	81.0	
平均前同比(%)		94.6	98.7	85.9	
一般産業廃棄物リサイクル率(総排出量比)	実績(%)	29.0	22.0	31.0	
	前年比(%)	155.1	75.9	140.9	
紙使用量	事務用(PPC等)	実績(t)	912	886	722
		前年比(%)	98.5	97.1	81.5
	梱包材	実績(t)	516	394	296
		前年比(%)	133.9	76.4	75.1

弊社のキャラクターエルちゃんです。
アライグマはものを水に浸して洗うしぐさをご存知でしょうか。だからアライグマなのです。
めっきは水洗いの繰り返し。私達はアライグマのように水洗いをめっき術の象徴として、徹底して極めていきたいのです。それからアライグマは大変な好奇心のち主でありながら、どんなときでも冷静に対処できる賢い動物なのです。



2) 環境目標と評価

主要項目		2006年度	2007年度	2008年度
二酸化炭素排出量 基準年(1990年)実績 :1,060(t)	目標 (前年比) (基準年比)	未設定	2%	5%
	判定		6%	10%
廃棄物排出量 (無機汚泥)	目標 (前年比)	5%	3%	1%
	判定			
総排水量	目標 (前年比)	2%	2%	2%
	判定			

自主項目		2006年度	2007年度	2008年度
化学物質使用量	目標 (前年比)	1%	3%	2%
	判定			
一般産業廃棄物 リサイクル率 (総排出量比)	目標 (前年比)	+10%	+5%	+5%
	判定		×	
紙使用量	事務用	目標 (前年比)	1%	1%
		判定		
	梱包材	目標 (前年比)	1%	1%
		判定	×	

4. 環境活動計画の内容と評価

活動目標	08年度環境活動計画の内容	評価	
二酸化炭素排出量削減	照明器具のこまめな消灯 冷暖房設定温度を各スイッチパネルに表示し順守励行 社有車の効率運行による使用燃料削減 ボイラーの効率稼働によるガス使用量削減 待機電力の削減		
廃棄物排出量削減	無機汚泥含水率の低減 包装材のリユース推進 一般廃棄物の分別によるリサイクル率増加 IT機器の活用と社内LAN整備による紙使用量削減		
総排水量削減	工程内使用水道水の有効利用 社員の節水の為の意識改革 担当ライン毎に水道使用量を計測し詳細管理実行		
化学物質使用量削減	不適合製品の削減 処理液の長寿命化 処理液主成分の低濃度化 材料補給頻度を高め処理液の変動低下 排水処理使用材料の使用方法の工夫		
一般廃棄物 リサイクル率増加	リサイクル業者の選定 リサイクルパトロールの実施(分別ミスによる混入の管理) 廃棄物分別の徹底		
紙使用量	事務用	社内LAN整備によるペーパーレス化推進 裏紙使用の徹底	
	梱包材	リユース推進 簡易包装推進	

5. 環境活動取組結果と評価

2008年度の環境活動取組結果と評価を次に示します。

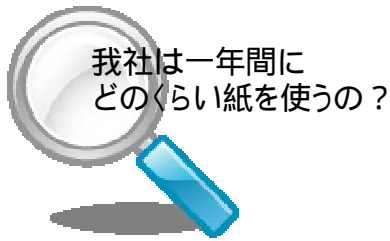
当初の計画を遥かに上回る実績を上げておりますが、幸か不幸か各部署の環境活動意識の向上が目覚しく、目標設定時に予想できませんでした。

主要項目			2007年度 実績	2008年度 目標	2008年度 実績	前年比 (%)	判定
二酸化炭素排出量	購入電力	kwh	1,282,777	5%	861,600	67.2	
	LPG	kg	164,905	5%	134,116	81.3	
	ガソリン	L	540	2%	632	117.0	×
	軽油	L	6,100	2%	5,343	87.6	
廃棄物排出量	無機汚泥	kg	39,210	0.5%	20,340	51.9	
総排水量	水道使用量	m ³	54,378	2%	35,450	65.2	
主要項目			2007年度 実績	2008年度 目標	2008年度 実績	前年比 (%)	判定
化学物質使用量	前処理類	kg	70,791	2%	57,122	80.7	
	めっき成分	kg	7,100	2%	3,975	73.7	
		L	15,680	2%	11,560	56.0	
	排水処理用	kg	152,540	2%	147,840	96.9	
使用量の多い材料に重点を絞り、削減に取組みました。							
リサイクル率向上	混入件数	件	1	0件	2	200.0	×
紙使用量削減	事務用	t	886	1%	722	81.5	
	梱包材	t	394	1%	296	75.1	

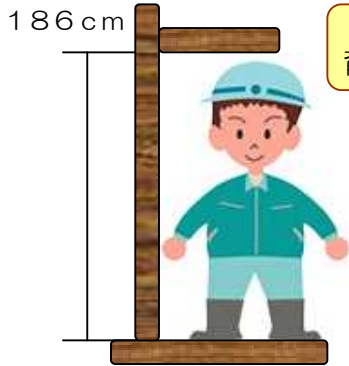
社長のコメント ~ 08年度マネジメントレビューより ~

人を最大の資源とみなしておりますが、社内・自己研修等の勉強会の結果を期待したい。特に『なぜなぜ分析』の考え方は多方面への展開に期待する。排水処理は、施設・水量に問題はあるが知恵を絞り技術を発揮して施設更新まで工夫をしていく。



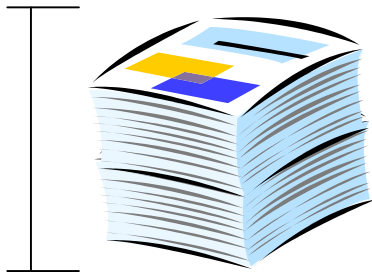


我が社が一年間に使う紙を積み上げると・・・



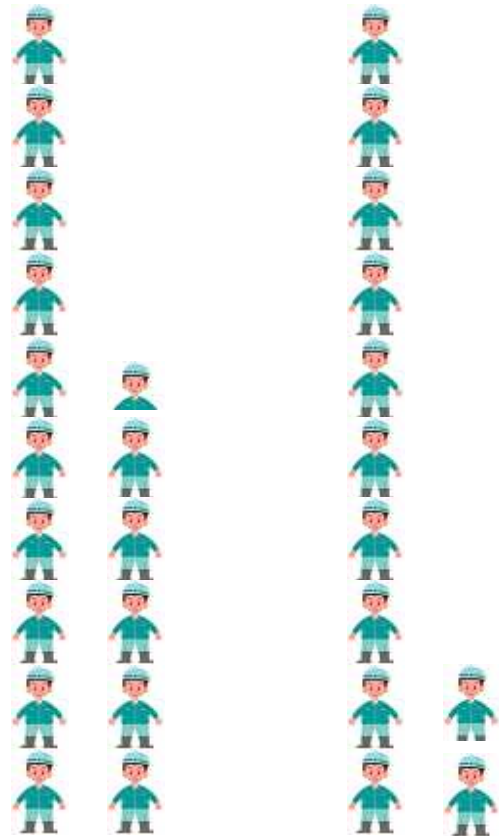
我が社で一番の背高のつぼ梅ちゃん

4. 6 cm / 500枚 (PPC用紙)



07年度

08年度



梅ちゃん15.4人分

梅ちゃん11.8人分

この環境活動レポートを編集している事務局(157cm)は、あまり長く梅ちゃんと話すと首が痛くなります。何気なく使ってしまう”紙”ですが、「見える化」することで少しでも節約に繋がればと思います。

6. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

環境関連を含めた、弊社が規制を受ける法律に関して、違反はありません。

また、法律に定められた届出、報告なども適正に実施しております。

尚、近隣、その他の利害関係者からの苦情などは、過去にありません。

以上